



町田市教育センターを訪問しました。

2020年9月15日(火)

国際ソロプチミスト町田
会長 柴崎亜紀子

2020年9月15日(火)、町田市教育センターへ訪問しました。

国際ソロプチミスト町田が町田市教育センターへ支援を開始したのがソロプチミスト町田として認証を受け、発足した30年前に始まります。

今や、いじめ、不登校、発達障害等、幼児から児童、中高生に至る子供たちは、様々な悩みや心配を抱えている社会となりました。

その数は、年々増え続け、町田市教育センターでも、一日に20件~30件(面接時間は1回50分)の相談件数となっており、予約待ちの状況とのことです。子供の数は減少傾向にもかかわらず、相談件数が増え続ける理由の一つには、「開かれた教育現場」として、隠さず、オープンに相談ができる窓口が増えたことにも影響があるようで、町田市教育センターは、その最たる窓口として、専門のカウンセラー、診療心理士により、子供たちが自ら居場所を見つけて、生きていく力を養うよう支援されています。

訪問当日は、プレイセラピー(遊戯療法)が実施されている、プレイルームを見学いたしました。

国際ソロプチミスト町田が支援した図書、玩具が並び、年齢にあわせた療法に活用されていることに、改めて嬉しく感じるとともに、子供たちが遊んだり、体を動かしながら、子供自身の様々な悩みや心配事が一つでも解決されることを心から祈る思いです。

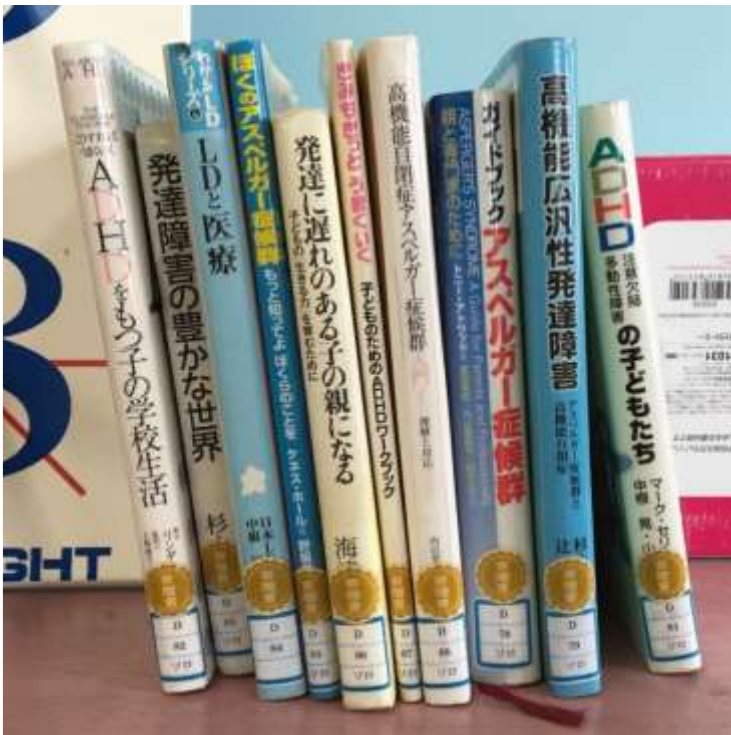
町田市の相談員様は、30代前後で、自身も子供を抱え、保育所や学童クラブへ子供を預けながらの業務体制で、そんな中での教育支援活動には、同じ女性として、本当に頭が下がります。

当日の様子を撮影しました。末尾写真添付参照下さい。

相談



遊戯療養室といい、専門のカウンセラーとともに子供たちが遊んだり、体を動かして、プレイセラピーを行っています。



ソロプチミスト文庫

